

大人へのパスポート

高校生の時に出合っしてほしい、高校生の時だからこそ感受性豊かに楽しむことができる本を集めました。紹介している44冊の本は、宗像ユリックス図書館と須恵分館のYAコーナーにそろえています。

「タイトル」	著者名	出版社	出版年
表紙	分類番号		
	難易度※		
あらすじ	※難易度	★…読みやすい	★★…高校生にピッタリ
		★★★…チャレンジ	

日
本
文
学

「羊の告解」



いとうみく／著
静山社 2019年
913イ
★

ある朝突然、父親が警察に連行された。涼平は友達にも彼女にもそのことを言えなかった。犯罪加害者の家族となった少年と家族の葛藤を描く。

「みかん、好き？」



魚住直子／著
講談社 2019年
913ウ
★

島に住む高校1年生の拓海、ひなた、柴の3人は、拓海の祖父のみかん作りを手伝うことになる。みかんを通じて出会った3人の青春物語。

「この川のおこうに君がいる」



濱野京子／著
理論社 2018年
913ハ
★

中学時代の経験から、進学した高校では震災で被災したことを隠している梨乃。入部した吹奏楽部で被災者であることを隠さない遼と出会う。

「お探し物は図書室まで」



青山美智子／著
ポプラ社 2020年
Fア
★★

コミュニティハウスの中にある図書室。司書の小町さんから渡される思いもよらない本と小さな付録が、悩みを解決するきっかけを与えてくれる。

「そして、バトンは渡された」



瀬尾まいこ／著
文藝春秋 2018年
Fセ
★★

複雑な家庭環境で育った高校2年生の優子には、父親が3人と母親が2人いる。タイトルの「バトンは渡された」の意味がラストで明かされる。

「線は、僕を描く」



砥上裕将／著
講談社 2019年
Fト
★★

無気力な日々を過ごす大学生の青山。バイト先で出会った水墨画の巨匠の内弟子となり、その世界に惹かれていく。水墨画家の著者が描く物語。

「GoForward！」

櫻木学院高校ラグビー部の熱闘



花形みつる／著
ポプラ社 2018年
Fハ
★★

高校の新米教師が、理事長の命令でラグビー部を創り、個性的な仲間と共に花園を目指す。実在のラグビー部取材して書いた熱血部活小説。

「本と鍵の季節」



米澤穂信／著
集英社 2018年
Fヨ
★★

高校2年生の図書委員、堀川次郎と松倉詩門。図書室に持ち込まれるいくつかの謎を、2人は鋭い観察力と本の知識を活用して推理していく。

「熱源」



川越宗一／著
文藝春秋 2019年
Fカ
★★★

実在した樺太出身のアイヌ山辺安之助が時代に翻弄されながら生きていく姿を描く。樺太の風土やアイヌの風俗も描いた史実に基づく歴史小説。

「火定」



澤田瞳子／著
PHP研究所 2017年
Fサ
★★★

奈良時代の疫病蔓延を題材に、見えないウイルスに苦しみながらも生き抜こうとする人々を描く。新型コロナウイルスと闘う現代に通じる作品。

外
国
文
学

「変化球男子」



M・G・ヘネシー／作
杉田七重／訳
すずき出版 2018年
933ヘ
★

ロサンゼルスの中芸に通うシェーンは野球が得意。心は男子だが、身体は女子であることに悩む。トランスジェンダーについて考える本。

「アーニャは、きっと来る」



マイケル・モーパゴ／作
佐藤見果夢／訳
評論社 2020年
933モ
★

第2次世界大戦中のフランス。ヒツジ飼いのジョーは、ある男との出会いから、ユダヤ人の子どものスペイン亡命を手助けすることになる。

「キリギリスのしあわせ」



トーン・テレヘン／著
長山さき／訳
新潮社 2021年
949テ
★★

森のはずれにあるキリギリスの店には、太陽と月と星以外なんでも売っていた。店に来るどうぶつたちの要望に応え、日々、奮闘する。

「保健室のアン・ウニョン先生」



チョン・セラン／著
斎藤真理子／訳
亜紀書房 2020年
929チ
★★

M高校に勤めるアン・ウニョンはただの養護教諭ではない。霊能力を持つ彼女は、学校の不思議や彼女にしか見えない邪悪なものに立ち向かう。

「ザ・ヘイト・ユー・ギヴ あなたがくれた憎しみ」



アンジー・トーマス／作
服部理佳／訳
岩崎書店 2018年
933ト
★★

黒人街で暮らす女子高生スターは、幼馴染のカリルが無実の罪で白人警官に射殺される事件に遭遇。カリルの汚名をはらすため、法廷に立つ。

「少女と少年と海の物語」



クリス・ヴィック／著
杉田七重／訳
東京創元社 2021年
933ヒ
★★

ひとりボートで大西洋を漂流していた少年ビルは、同じく遭難した少女アーヤに出会う。苦境の中、アーヤが語る物語が2人の救いとなる。

「ルーパートのいた夏」



ヒラリー・マックイ／作
富永星／訳
徳間書店 2020年
933マ
★★

風習や価値観が現代とは異なる20世紀初頭の英国。少女クラリーは、いとこのルーパートに密かに想いを寄せるが、やがて戦争が2人を引き離す。

「ミシシッピ冒険記 ぼくらが3ドルで大金持ちになったわけ」



ダヴィデ・モロジノット／著
中村智子／訳
岩崎書店 2021年
973モ
★★

4人の子どもが沼地で3ドルを拾う。これで商品カタログを買い、欲しいものを手に入れよう!しかし届いたのは注文したはずのない物だった。

「ザリガニの鳴くところ」



ディーリア・オーエンズ／著
友廣純／訳
早川書房 2020年
933オ
★★★

湿地帯で死体が発見された。犯人は誰なのか?村人に蔑まれる孤独な少女カイアの成長と殺人事件が、時を前後して交互に語られる。

「グレゴワールと老書店主」



マルク・ロジェ／著
藤田真利子／訳
東京創元社 2021年
953ロ
★★★

老人介護施設で働く18歳のグレゴワールは、元書店主のピキエに出会う。体と目が不自由になったピキエに依頼され、彼のために朗読を始める。

大人へのパスポート

このページで紹介している本は、新たに選んだものと、「高校生へのおすすめ本リスト フィクション編」「高校生へのおすすめ本リスト ノンフィクション編 2021年追加版」から抜粋し再編集したものです。

日本文学

「自炊男子」



佐藤剛史／著
現代書林 2011年
Fサ
★

食に関心がなかった大学生のイケベタカシ。ある女性と出会ったことで自炊に目覚め、食を通して人生の大切さを学んでいく。福教大がモデル。

「うたうとは小さいのちひろいあげ」



村上しいこ／著
講談社 2015年
Fム
★

高校1年生の桃子は、先輩に誘われて「うた部」に入部する。そんな桃子には、中学時代の親友が不登校になっているという悩みがあった。

「鹿の王」



上橋菜穂子／著
KADOKAWA 2014年
913ウ
★★

岩塩鉱に囚われていた戦士団の頭ヴァン。ある夜、獣たちが岩塩鉱を襲い謎の病が蔓延する。脱出したヴァンは、匿われていた少女を見つける。

「天盆」



王城夕紀／著
中央公論新社 2014年
Fオ
★★

盤戲「天盆」の覇者が政治の中枢を担う小国「蓋」。3歳から天盆を習った凡天は、10歳で天盆大会に出場することになる。

外国文学

「さよならを待つふたりのために」



ジョン・グリーン／作
金原瑞人・竹内茜／訳
岩波書店 2013年
933ク
★

16歳のヘイゼルは甲状腺がんを患っていた。サポートグループで出会った片足が義足の少年と仲良くなり、彼女はお気に入りの本について話す。

「ペーパーボーイ」



ヴィンス・ヴォーター／作
原田勝／訳
岩波書店 2016年
933ホ
★

話す時どもるため、人と話すのが苦手なぼく。夏休みに友達の代わりに新聞配達をする中で、様々な人と出会い交流を通して成長していく。

「月にハミング」



マイケル・モーパーゴ／著
杉田七重／訳
小学館 2015年
933モ
★★

イギリスのシリー諸島の無人島でアルフィと父親のジムは、死にかけた女の子を見つける。一言も話せないその子は、どこから来たのか。

「アウシュヴィッツの図書係」



アトニオ・G・トルバ／著
小原京子／訳
集英社 2016年
963イ
★★

アウシュヴィッツ強制収容所で秘密の小さな図書館を命をかけて運営した人たちがいた。図書係の仕事をするのは14歳の少女デタだった。

ノンフィクション

「読書する人だけがたどり着ける場所」



齋藤孝／著
SBクリエイティブ
2019年
019サ

本を読まなくなった人が増えてきた現代に、読書の素晴らしさを提言。読書することで、人格を大きくしていくことができると説いている。

「青春の本棚」



高見京子／編著
全国学校図書館協議会
2020年
019タ

司書教諭や学校司書が、中高生に手渡したい本の魅力を伝えるブックガイド。感受性の豊かな現役中高生によるおすすめ本22冊の紹介も収録。

『『空気』を読んでも従わない』



鴻上尚史／著
岩波書店
2019年
159コ

本当は嫌なことでも断れなかったり、周りの目が気になったりするのなぜ？多くの人が抱える「生き苦しさ」の理由と対処法がわかる。

「泣いたあとは、新しい靴をはこう。」



日本ペンクラブ／編
ポプラ社
2019年
159ナ

10代の自分自身のことや人間関係、将来の悩みに、人生の先輩である44名の作家が答える。角度を変えて物事を見つめ直すきっかけとなる1冊。

「平和のバトン」



弓狩匠純／著
くもん出版
2019年
319ユ

被爆者の見た光景を1年かけて1枚の絵にする「次世代と描く原爆の絵」プロジェクト。証言者と広島県の高校生たち取材し描いた1冊。

「法は君のためにある」



小貫篤／著
筑摩書房
2021年
320オ

きまり、ルール、法律は何のためにあるのか考えてみよう。学校や社会で起きている問題を例に取り上げ、法の考え方や価値を解説。

「未来を変える目標SDGsアイデアブック」



一般社団法人 Think the Earth／編著
紀伊國屋書店
2018年
333ミ

「SDGs」17のそれぞれの目標について、インフォグラフィックとテキストで解説。「未来を変える」ユニークな取り組みも紹介。

「16歳の語り部」



雁部那由多、津田穂乃果、相澤朱音／著
ポプラ社
2016年 369シ

東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた東松島市大曲地区出身の3人。彼らが高校1年の時語り部になり、中学生に話した内容をまとめた1冊。

「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」



ブレイディみかこ／著
新潮社
2019年
376フ

日本人の母とアイルランド人の父を持つ少年。イギリスの中学校で起きる人種差別問題などに悩みながら成長する。その様子を母親が綴った実話。

「生き物が大人になるまで」



稲垣栄洋／著
大和書房
2020年
461イ

植物や動物の成長を様々な角度から紹介。生き物にまつわる不思議、子どもから大人への成長を学び、人間が大人になる意味について考える。

「バッタを倒しにアフリカへ」



前野ウルト浩太郎／著
光文社
2017年
486マ

「バッタに食べられたい」という夢をもっていた著者。夢を叶えるため、様々な困難に見舞われながらバッタと死闘を繰り返した日々を綴る。

「エレクトロニクスラボ」



DK社／著
若林健一／訳
アライ・ジャパン社 2020年
549エ
★★

電気ので動くコイン電池やAMラジオなど、ワクワクするような工作を紹介。ものづくりに必要なスキルとアイデアを得ることが出来る。

「捨てられる食べものたち」



井出留美／著
旬報社
2020年
611イ

食品ロスの驚くような現状や、世界と日本の食料事情についてイラスト付きで解説。食べものへのこれからの向き合い方を考えるための入門書。

「江戸のジャーナリスト 葛飾北斎」



千野境子／著
国土社
2021年
721チ

日本が世界に誇る浮世絵師・葛飾北斎。鎖国下の江戸時代に、彼は海外にも強い関心を示し、物事を冷静に観察する目を持っていた。

「それでも僕は歩き続ける」



田中陽希／著
平凡社
2021年
786タ

「日本三百名山ひと筆書き」に挑戦しているプロアドベンチャーレーサー田中陽希が、これまでの経験や変化する自然への思いを綴った自叙伝。

「放課後の文章教室」



小手鞠るい／著
偕成社
2019年
816コ

SNSや読書感想文、小説を書くとき、どうすれば魅力的な文章が書けるのか。作家である著者が文章を書くことの楽しさやコツを丁寧に伝える。